

APRICOT2021夏季公演

「APRICOTの銀河鉄道の夜」[2021.7.31～8.1]

全体で歌うところなどの完成度がものすごく高くてびっくりしました。また、相当練習したんだろうなっていうのが伝わってきました。（10代／新潟市）



今のご時世だからこそ触れられて良かったと思える作品でした。演技も歌唱も素晴らしく、子どもたちひとりひとりが輝く、まさに星のような演劇でした。（20代／新潟市）

石田泰尚×津田裕也

ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会 [2021.9.23]

昨年の公演が中止になり、1年越しに演奏を聴くことができて嬉しいです。（中略）ずっと聴いていても飽きない音色に癒されました。（40代／新潟市）



1日で全曲演奏という命を削るような企画、気合いを養って10曲聴かせていただきました。ピアノとヴァイオリンが楽しそうに対話しているソナタだと思いました。（60代／新潟市）

第三十三回ふるまち新潟をどり [2021.9.19]

初めてこのような公演を見させていただいたのですが、素晴らしかったです。新潟、古町に住む人間として誇りに思います。素敵な演舞、ありがとうございました！（20代／新潟市）



うしろ面を楽しみにしていたが、やはりすごい芸だと思った。まさに新潟の宝だ。大変な状況下、おけいこに精を出された古町芸妓さんをリスペクトします。（50代／新潟市）

『Le Fils (ル・フィス) 息子』 [2021.9.29～30]

この公演が発表されてから、早く観たいとずっと思っていました。父と子のそれぞれの考えや価値観、思いの汲み取りがとても考えさせられて心に響きました。（20代／新潟市）



とても考えさせられる公演でした。私にも息子がいます。私だったらどうしたでしょうか？深く考えさせられ、何度も見たい公演です。（40代／新潟市）

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

① 新作品「利休」



公演日
3月13日(日) 14:00
会場:能楽堂

抽選で
ペア2組4名様

② 東京交響楽団 第124回新潟定期演奏会



公演日
3月20日(日) 17:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

③ Noism2定期公演 vol.13



公演日
5月21日(土) 17:00
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:(1)ご希望の公演名(2)氏名(3)〒住所(4)電話番号(5)年齢(6)本誌を入手した場所(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.67プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2022年2月28日(月)必着

お問い合わせ

休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29～1/3)
※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00～19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00～19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30～18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00～18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00～18:00)
■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリンピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで次号vol.68は2022年4月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

新しい一年の始まりです。初詣はもう行きましたか?りゅーとぴあのお隣、白山神社で祭られている神様クリヒメは、イザナギとイザナミの夫婦喧嘩を仲裁した神様。このことから白山神社は夫婦円満のご利益もあるそうですよ。ご利益といえば1/8(土)に能楽堂で行われる能「高砂」は、夫婦円満や長寿を祝う「最もおめでたい曲」。当日は11時から入場無料の「ロビーでお能」も開催します(詳細はHP)。初詣のついでに、ぜひりゅーとぴあへお越しください。(T)



その先の感動へ

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.



りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)



Ryutopia Magazine 2022 Winter vol.67 2022年1月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
編集:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 制作:株式会社 新交企画
デザイン:株式会社 U-STYLE 印刷:島津印刷株式会社



Life with Performing Arts

vol.67

2022 Winter

まっすぐオルガンと向き合い、 呼吸を合わせて奏でたい。

2006年から2020年までリゅーとびあ専属オルガニストを務めた山本真希さん。2年前、コロナ禍で中止となった任期最後のリサイタルが、この3月に開催できることになりました。新潟への特別な思いや、リサイタルへの意気込みを語ってもらいました。

山本真希 YAMAMOTO Maki

神戸女学院大学音楽学部、同大学専攻科卒業後、渡独。ドイツ、フライブルク音楽大学大学院、シュトゥットガルト音楽・演劇大学ソリスト科で学ぶ。2005年、オルガンソロを最優等の成績で修了してドイツ国家演奏家資格を取得。その後、フランス、ストラスブール音楽院で学ぶ。井上圭子、Z.サットマリー、J.ラウクヴィック、C.マントゥーの各氏に師事。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガンコンクール第3位。2006年から2020年3月まで、リゅーとびあ新潟市民芸術文化会館専属オルガニストを務める。ソロCD、サン＝サーンス、オルガン交響曲第3番のライブ録音CDをリリース。東京交響楽団、日本センチュリー交響楽団と共演。ハーモニーホールふくいオルガン・スクール講師、相愛大学音楽学部オルガン科非常勤講師。

——おひさしぶりです。専属オルガニストをご退任後いかがお過ごしですか。

コロナ禍で自粛生活が始まった頃は自宅にこもって、オンラインや録音など新しい方法を模索していました。閉塞感を感じる日々でしたが、学生時代には思いもよらなかった方法で、できることがたくさんあるのだと新たな発見や学びがありました。インターネットが普及したこの時代にコロナ禍を経験し、人と会うことや手紙を書くこと、生演奏を聴くこと、これまで当たり前前と思っていた、生きた体験を積み重ねる大切さを改めて実感しました。

——地元大阪へ戻られた感想は。

雪国新潟に長く暮らしたからか、大阪は冬でも暖かく感じます。寒さが苦手で、新潟では何度も吹雪にへこたれていたはずなのに、雪がない冬はどこか寂しく物足りない。いつの間にか、厳しい寒さと共に春を待つ暮らしがごく普通になっていたのだなぁと気づきました(笑)。

昨年から続くこの状況下で、感染対策を踏まえてのリゅーとびあの運営はどれほど大変な

ことだろう、皆さんお元気だろうかと気になっていました。公演や活動が再開されつつあると伺い、本当に良かったと喜んでいます。

——真希さんといえば、オルガンの魅力を伝えるため全力で取り組む姿が印象的でした。

素晴らしいオルガンを備えたホールがあって、演劇やNoism、ジュニア音楽教室など多彩な活動が行われ、サポート体制にも恵まれているリゅーとびあだからこそ、多様で分野の垣根を越えた企画にも取り組むことができました。公演を支える各分野の方々の働きは、依頼を受けて演奏に出かけるだけではきっと知りえなかったことだと思います。伝統文化、風土が大切にされている新潟で、多くの方々に支えられ、微力ながらも活動に携われたことを幸せに感じています。

——さて2年前に中止となった真希さんのリサイタルが、いよいよ開催の運びとなります。

再演が叶わない公演が多い中、特別な機会をいただいたことは本当に幸せで、身の引き締まる思いがしています。実現にご尽力くださった

皆様、様々な形でずっと応援してくださった皆様に深く感謝しています。

3月のリサイタルは、新潟のオルガンと相性抜群のスペイン音楽と、J.S.バッハの名曲を中心にお届けします。前半に演奏するスペインの音楽は、戦いを記念する儀式的作品でも宗教的な作品でも、至るところに舞踊のリズムや要素が取り入れられていて、スペインの人は本当に踊りが好きなのだと感じます。後半はバッハの名曲と、レーガーの編曲による、ロマンティックな響きのバッハ作品をお贈りします。また、新潟市出身の作曲家、馬場法子さんの作品も演奏いたします。この作品は、オーバーホール前のオルガンをモデルに作曲されたので、今回、オーバーホール前後で変化した内容をお伝えし、演奏についてのアドヴァイスもいただきました。

——真希さんと14年間ともに過ごしたオルガンとの再会ですね。何と話しかけますか。

「かけがえのない多くの出会いや経験を与えてくれてありがとう。また、演奏できることがとても嬉しいです」と伝えたいです。

オルガンはいつもその場所において、演奏者をまっすぐ迎えてくれます。心を通わせたいと願えばそのようになりますし、支配するつもりで臨めば、そっぽを向かれて対話になりません。こちらの心のありよう通りの音が見事にかえってきます。まっすぐな気持ちでオルガンと向き合い、呼吸を合わせて美しい音を求めたい、そういう音を聴いていただきたいです。皆様にお会いできることを心より楽しみにしています。ぜひご来場ください。

Information

山本真希オルガン・リサイタル

オルガン名曲集 ～スペインとJ.S.バッハの珠玉作品～

【日時】3月12日(土)14:00開演 【会場】コンサートホール
【曲目】 【料金】全席指定2,000円
J.ヒメネス:第6旋法のバッターリャ
J.S.バッハ:幻想曲とフーガ短調 BWV542 ほか



10年分の感謝を込めて 演奏する、特別なショパン。

12歳でCDデビューを果たした牛田智大さんも今年で22歳。10周年の特別な年に、リゅーとびあでオール・ショパン・プログラムを演奏します。コロナ禍の自粛期間を、自分を高めるための充電期間にかえて、さらに深みを増す牛田さんに話を聞きました。

牛田智大 USHIDA Tomoharu

1999年いわき市生まれ。父親の転勤に伴い、生後すぐ上海に移り6歳まで育つ。3歳よりピアノを始め、2012年(12歳)、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。同年3月、クラシックの日本人ピアニストとして最年少(12歳)でユニバーサルよりCDデビュー。以降、ベスト盤を含む7枚のCDをリリース。これまでに国内外の著名指揮者やオーケストラと共演を重ね、全国各地の演奏会で活躍。2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せて聴衆賞およびワルシャワ市長賞を受賞。2019年3月には出光音楽賞を受賞。

©Ariga Terasawa

——2022年は牛田さんのデビュー10周年ですね。おめでとうございます！

10年間、本当に貴重な経験でした。光栄な機会をたくさんいただき、素晴らしい共演者の方々、スタッフの方々、そして何より演奏を聴いてくださる多くの方々に育てていただきました。ときに責任ある舞台上で青息吐息になることもありましたが(笑)…良いときも悪いときも支えて、見守ってくださった方々に心から感謝しています。

——記念すべき年に、リゅーとびあでリサイタルを行います。

一昨年の春に中止になったリサイタルが、2年越しに開催となります。コロナ禍を経て、再びリゅーとびあで演奏させていただけることは大きな喜びです。この2年間は多くの公演が中止や延期になりクラシック音楽界にとって苦しい時期でしたが、一方で多くの演奏家にとってはそれぞれの実力を高めるための“インプット”の期間だったと思います。私もさまざまな書籍や文献、文学作品に触れ、音楽的にも

ショパンの作品にフォーカスして取り組みとても充実した時間を過ごしました。

——3月はオール・ショパン・プログラムです。

ショパンは最も演奏が難しく、最も共感できる作曲家でもあります。ショパンは高いレベルの“芸術的良心”を持った作曲家でした。彼の作品のなかには多くの感情やアイデアがあり、それらはときに過激で狂気に満ちているのですが、彼はそれらのすべてを音楽に反映させず、“上品で、謙虚で、素朴な”独特のスタイルを頑なに守っています。彼の“人間としての感情”と“芸術家としての信念”が必ずしも同調しない姿勢をとっても尊敬し共感しています。一方でそれらが絶えずめぎ合う絶妙なバランスを演奏に反映させるのはとても難しく、いつも苦労しています。

——リサイタルの聴きどころは。

後半に演奏する、亡くなる年に書かれた絶筆のマズルカ(Op.68-4)はある意味で今回のプログラムの中心となる作品です。彼が

ワルシャワ蜂起の直後に残した手記のなかに「人間が成しえるもっとも偉大な行為とは死であり、もっとも罪深い行為は生きることである」という言葉があるのですが、今回のプログラムはこの言葉をテーマに彼の精神世界を描くことを試みたいと考えています。彼は革命から逃れるため若くして祖国を離れ、ワルシャワ蜂起の失敗による国家の存続危機への怒り、家族や友人の死に対する悲しみ、自身の病への絶望を原動力に多くの作品を作曲しました。10代の頃から遠くない死期を悟っていた彼にとって死とはどんな存在だったのか…そういった部分に想像を馳せる上でのキーポイントとしてこの謎めいたマズルカを置いているので、注目していただけたらと思っています。

——これまで新潟には何度もお見えですが、新潟の人やリゅーとびあの印象は。

新潟はとても好きな場所です。会場の雰囲気にもお客様にも緊張感があり、演奏前や曲間には息を呑むような静寂が起こります。雪の季節に演奏の機会をいただいたことが何度かあるのですが、信濃川の周辺などは特にヨーロッパの冬の景色に似ているようで特別な感慨を抱きました。ショパンが冬から春への過渡期に感じていた空気感も、新潟で味わえるかもしれません。

——最後に新潟のお客様にメッセージを。

当日会場で皆様とお会いし、ショパンの音楽と世界観を共有できることを心から楽しみにしています！

Information

リゅーとびあ ピアノ・リサイタル・シリーズNo.43 牛田智大ピアノ・リサイタル

【日時】3月19日(土)14:00開演 【会場】コンサートホール
【料金】S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円
【オール・ショパン・プログラム】
《4つのマズルカ》Op.68よりNo.4 へ短調
ゴロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」Op.53 ほか



2022 WINTER/SPRING

RYUTOPIA NAVIGATION

2022年、冬～春のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅうとぴあ
カレンダーをご覧ください。

2022年度 新潟定期演奏会

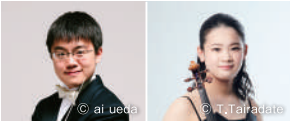
東京交響楽団 プログラム発表！

ようやく世界が落ち着きを取り戻しつつある2022年度。
りゅうとぴあ東響がお届けする「音楽の旅」は、さらに深く音楽を追求する旅にいたします。幅広いレパートリーを網羅しながら、
素晴らしい才能ある若い演奏家をソリストに起用します。どうぞ東京交響楽団 新潟定期演奏会に足をお運びください。

第125回 5.29(日)17:00

シーズン最初の公演は、いきなり豪華協奏曲祭り！ヴァイオリン、ピアノ、チェロの協奏曲を3曲一挙にお楽しみください。シーズン開幕を華々しく飾ります。

指揮：太田弦
ヴァイオリン：前田妃奈
ピアノ：福岡洸太郎
チェロ：宮田大



Program
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
ホ短調 op.64
グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op.16
ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調
op.104

福岡洸太郎(ピアノ) 宮田大(チェロ)

第127回 7.17(日)17:00

東響×ノットの黄金ペアが揃うと、この上なく白熱した演奏になること間違いなし。マーラー交響曲第5番では、大管弦楽による音の波が圧倒的な迫力を演出します。

指揮：ジョナサン・ノット
ソプラノ：ユリア・クライター

Program
ラヴェル：海原の小舟(管弦楽版)
一鏡より
ベルク：七つの初期の歌
マーラー：交響曲 第5番
嬰ハ短調



ジョナサン・ノット(指揮) ユリア・クライター(ソプラノ)

第129回 12.4(日)17:00

19世紀から20世紀にかけてのフランス作曲家2名の作品を指揮するのは、堅実な指揮が特徴の藤岡幸夫。エスプリ香るフランス作品をどのように表現するか注目です。

指揮：藤岡幸夫
ソプラノ：砂川涼子
バリトン：与那城敬
合唱：いがた東響コーラス



藤岡幸夫(指揮) 砂川涼子(ソプラノ) 与那城敬(バリトン)

Program
フォーレ：パヴァーヌ(合唱付き) フォーレ：レクイエム(1893年版/ラター校訂)
ラヴェル：組曲「マ・メール・ロワ」 ラヴェル：ボレロ

1回券より、定期会員が断然お得！

2022年度の6公演分のチケットを、お得な料金でまとめてご購入いただけるほか、さまざまな招待公演などの特典付き。詳細はりゅうとぴあHPをご覧ください。

第126回 6.26(日)17:00

名匠イオン・マリンの指揮で演奏するのは、ロシア音楽の名曲。壮大なオーケストラ・サウンドが魅力のチャイコフスキー、そして根強い人気を誇るストラヴィンスキーの「火の鳥」をお贈りします。

指揮：イオン・マリン

Program
チャイコフスキー：交響曲 第4番
ヘ短調 op.36
ストラヴィンスキー：バレエ音楽
「火の鳥」(1910年版)



イオン・マリン(指揮)

第128回 11.6(日)17:00

桂冠指揮者スターンは7年振りの登場。若き天才、郷古・岡本のテクニックが融合し、曲を一層ドラマティックに表現します。クラシック音楽の良さが詰まったプログラム。

指揮：ユベール・スターン
ヴァイオリン：郷古廉
チェロ：岡本侑也



ユベール・スターン(指揮) 郷古廉(ヴァイオリン) 岡本侑也(チェロ)

Program
メンデルスゾーン：静かな海と楽しい航海 op.27
ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102
シューマン：交響曲3番 変ホ長調 op.97「ライン」

第130回 2023.3.26(日)17:00

2020年12月に香港フィル常任指揮者に就任し、世界各地のオーケストラと共演を重ねる注目の指揮者、リオ・クオクマンが登場。ベルリンを拠点に活動する金川真弓にも期待です。

指揮：リオ・クオクマン
ヴァイオリン：金川真弓

Program
コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲
ニ長調 op.35
R.シュトラウス：「ばらの騎士」組曲
ラヴェル：ラ・ヴァルス



リオ・クオクマン(指揮) 金川真弓(ヴァイオリン)

定期会員募集 1.29(土) 11:00 受付開始

■N-PAC mate友の会フレンズ(RF～)→11:00～
チケット専用ダイヤル 025-224-5521及びオンライン・チケットにて同時受付
■インターネット会員(W～)→18:00～ オンライン・チケットにて受付

新潟のアーティスト12組が勢揃い。昨年度大好評のガラ・コンサート再び！

2020年7月「コロナ禍に生の演奏を届けよう」と開催された、新潟ゆかりのアーティストによる演奏会《ステイ・アット・ニイガタ・コンサート》。たくさんのお客様にご来場いただき、大好評をいただきました。
今年度も12組の新潟ゆかりのアーティストが揃い、2回目を開催いたします。クラシック音楽から、尺八、箏、和太鼓など和楽器を使った演奏、そしてジャズの演奏までバラエティに富んだプログラムで盛り上げます。
1公演に2組ずつ、2日間で計6公演。1回券のほか、好きな3公演をセレクトしてお得に買える《セレクト3》チケットも大好評発売中。もちろん、2日間全部聴くのも楽しいですよ。音楽を楽しみ尽くせる2日間です。出演者の詳細はりゅうとぴあホームページにて公開中。



2020年ステイ・アット・ニイガタ・コンサートより。薫風之音(左)、本間優(右)

ステイ・アット・ニイガタ・コンサート ～新潟ゆかりのアーティストによるガラ・コンサート～
■2.11(金・祝)・12(土)各日11:00開演・14:00開演・17:00開演 ■コンサートホール

東響・N響・読響の首席&ソリストとして活躍する6人が集結。世界水準の凄腕アンサンブル！

日本を代表する各オーケストラの首席奏者と、ソリストとして活躍する同世代のメンバーで結成された「東京六人組」。各楽器の精鋭が集う“夢の管楽アンサンブル”です。
注目のプログラムは、この編成のために書かれたブーランクの歴史的傑作「六重奏曲」を中心に、オペラ、バレエ、オーケストラの名曲を六重奏用に編曲した作品など実に多彩。世界水準の凄腕アンサンブルを、絶対にお聴き逃しなく！



【出演】
上野由恵(フルート)、荒絵理子(オーボエ)、金子平(クラリネット)、
福士マリ子(ファゴット)、福川伸陽(ホルン)、三浦友理枝(ピアノ)
【曲目】
ブーランク：六重奏曲
ラヴェル(浦壁信二編)：ラヴァルス ほか

りゅうとぴあ室内楽シリーズNo.42「東京六人組」 ■2.27(日)15:00開演 ■コンサートホール

前専属オルガニスト山本真希がりゅうとぴあに帰ってきます

2年前の3月、専属オルガニストとしてのラストリサイタルを迎えるはずだった山本真希。折しも世の中は感染拡大の波に飲み込まれ始めた頃。一時は延期の決断をしたものの、未知のウイルスとそれに振り回される社会の動きを予測することは難しく、結局リサイタルを行うことは叶いませんでした。
時が過ぎ、再びコンサートホールに賑わいが見られるようになった今日この頃、いよいよこの日を迎えることができます。新潟での14年間をともに過ごしたりゅうとぴあのグレンツィングオルガンと久しぶりの再会。今、改めて新潟のみなさまへ演奏を通して感謝の気持ちをお伝えします。ぜひコンサートホールに足をお運びいただき、再会の時を共有していただけたらと思います。

【プログラム】
J.ヒメネス：第6旋法のバッターリヤ
J.S.バッハ：幻想曲とフーガ短調 BWV542 ほか



山本真希(オルガン)

山本真希オルガン・リサイタル オルガン名曲集～スペインとJ.S.バッハの珠玉作品～ ■3.12(土)14:00開演 ■コンサートホール

祝・デビュー10周年! 天才・牛田智大の《オール・ショパン・プログラム》

小学生でのデビュー以来、多くの聴衆を魅了し続けてきた牛田智大。2022年3月にデビュー10周年を迎えます。その記念すべき3月に、待望のピアノ・リサイタルを開催いたします。

2020年5月、りゅーとぴあで開催予定だったリサイタルは、新型コロナウイルスの感染拡大により急遽中止となりました。「ぜひまた牛田さんと呼んでほしい!」数多く寄せられた声にお応えし、再度の招聘となります。

プログラムはピアノ・ファン垂涎の《オール・ショパン・プログラム》。マズルカやバラード、ポロネーズなど、ショパンの名曲の数々をお届けします。牛田智大の演奏は日々変化を遂げていて、聴く度に演奏の深みが増しています。大人の魅力が加わった、新しい牛田智大のピアノをぜひお聴きください。

【オール・ショパン・プログラム】
《4つのマズルカ》Op.68よりNo.4 ヘ短調
ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」Op.53
舟歌 嬰ヘ長調 Op.60
バラード 第4番 ヘ短調 Op.52
幻想曲 ヘ短調 Op.49 ほか



牛田智大(ピアノ)

りゅーとぴあ ピアノ・リサイタル・シリーズNo.43 牛田智大ピアノ・リサイタル ■3.19(土)14:00開演 ■コンサートホール

豪華! 世界を制した名手・上原彩子による渾身のピアノ協奏曲2本立て

2021年度シーズンラストの東響新潟定期は、ピアノ協奏曲が2曲演奏される豪華なプログラム。ピアノを演奏するのは名手・上原彩子。20年前にチャイコフスキー国際コンクールを制した際に演奏したラフマニノフの協奏曲《バガニニーの主題による狂詩曲》を演奏します。そしてもう1曲はコンクールタイトルに名を冠するチャイコフスキーの《ピアノ協奏曲第1番》。第一線で活躍し続けるピアニストが、あの感動を再び、さらに輝きを増して届けてくれます。

【曲目】
カリンニコフ:劇付随音楽「皇帝ボリス」序曲
ラフマニノフ:バガニニーの主題による狂詩曲
グリンカ:歌劇「皇帝にささげし命」序曲
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23



三ツ橋敬子(指揮)



上原彩子(ピアノ)

東京交響楽団 第124回新潟定期演奏会 ■3.20(日)17:00開演 ■コンサートホール

ジュニアのみんながステージに帰ってきました。 舞台に立てる感謝の気持ちとともに

邦楽合奏教室、合唱団、オーケストラ教室の三教室からなる、新潟市ジュニア音楽教室による毎年恒例の春の合同コンサート。今年度のジュニア音楽教室は感染拡大による活動休止や演奏会の中止など予期せぬ困難に見舞われながらも、それらを乗り越えてようやくコンサートができるところまでたどりつきました。制約がある中でも今できる精一杯のパフォーマンスを繰り広げる子どもたちの姿をぜひご覧ください。



新潟市ジュニア音楽教室 第18回スプリングコンサート
■3.27(日)14:00開演 ■コンサートホール

今年も魅せます、聴かせます! 珠玉の話芸をどうぞお見逃しなく!

落語のみならず、執筆活動やドラマやバラエティー番組の出演、ジャズ演奏、オーケストラの指揮、プロデュース公演など、あらゆるジャンルにてその才能を発揮している春風亭小朝。2015年に芸術選奨文部科学大臣賞、2020年春には紫綬褒章を受章するなどその実力は計り知れません。一瞬にして劇場を笑いと感動の渦に巻き込む至芸は必聴です。現代の落語界で人気・実力ともに当代随一の花形落語をどうぞお見逃しなく!



春風亭小朝独演会 第二十二回公演
■3.5(土)14:00開演 ■劇場

生誕500年! 茶道の大成者・千利休を描いた、歌人・馬場あき子作の新作能が登場!

茶道の大成者・千利休をテーマに、現代美術作家・杉本博司が構想・企画し、歌人・馬場あき子が書き下ろした新作能「利休-江之浦」。このたび、新演出によりタイトルを「利休」と改題し、待望の新潟登場です。利休ゆかりの茶室跡を訪れた高第・細川忠興の前に利休の霊が現れ、切腹に至る豊臣秀吉との因縁を語ります。シテは、京都を中心に活躍する能楽師・片山九郎右衛門です。演能前には馬場あき子のお話で、作品へのイメージをふくらませ、さらにその世界をお楽しみいただくことができます。2022年は利休の生誕500年の記念イヤーです。ぜひご覧ください。

【内容】
お話 馬場あき子(歌人)
新作能「利休」片山九郎右衛門(シテ方観世流)



馬場あき子



片山九郎右衛門



新作能「利休」

新作能「利休」 ■3.13(日)14:00開演 ■能楽堂

Noism1メンバー演出振付による新作5本立て! 今回は劇場の大空間でお届けします

去年はスタジオBで開催しチケット即完売となった「Noism1メンバー振付公演」を、2022年は劇場で開催! Noism1の5名がNoism1 & Noism2のメンバーと共に創る新作を5本立てで上演します。今回演出振付を行うのは、ジョフォア・ボブラヴスキー、三好綾音、中尾洸太、坪田光、樋浦瞳の5名。いつものNoism作品とはまた違った一面をご覧ください。ぜひ会場でNoismの新たな魅力を発見してください。

【演出振付】ジョフォア・ボブラヴスキー、三好綾音、中尾洸太、坪田光、樋浦瞳
【出演】Noism1 & Noism2
【芸術監督】山田勇氣



Noism1メンバー振付公演2021上演作品より

Noism1メンバー振付公演2022 ■2.5(土)17:00開演・6(日)15:00開演 ■劇場

研修生カンパニーNoism2による挑戦! Noismレパートリーから構成する作品を上演

Noism2は、プロをめざす若手舞踊家が所属するNoism Company Niigataの研修生カンパニー。現在は18～23歳のメンバーが国内各地から新潟に移り住み研鑽を積んでいます。定期公演では、これまでのNoismレパートリーから構成する作品を上演。研修生たちの挑戦にどうぞご期待ください。



Noism2定期公演vol.12
『Complex〜旧作と新作の複合による』(2021)より

Noism2定期公演vol.13
■5.21(土)17:00開演・22(日)15:00開演 ■劇場

Noism Company Niigata 新たなスタート

新潟市が定めたりゅーとぴあのレジデンシャル制度に基づき、金森穰が新たな制度の第1号として芸術監督に就任することが正式に決定し、昨年12月記者会見を行いました。

2022年9月からは「国際活動部門」と「地域活動部門」の2部門制とし、それぞれ井関佐和子、山田勇氣が芸術監督に就任、金森は全体を統括する芸術総監督に就任します。またNoism1リハーサル監督は新たにジョフォア・ボブラヴスキーが、Noism2リハーサル監督は浅海侑加が引き続き担います。これからも応援よろしく申し上げます!



左から中原新潟市長、ジョフォア・ボブラヴスキー、山田勇氣、金森穰、井関佐和子、浅海侑加、堀内貞子支配人



偏愛、 Noism

ファンがNoism愛を語るコーナー。今回は歴代メンバーとも親交の深い、クラシックCD専門店店主の佐藤さん。音楽にまつわる偏愛を開けるかと思いきや…?

vol.08

佐藤利幸さん

クラシック音楽専門CDショップ、コンチェルト店主。クラシックのみならずロックやポップス、さらに美術、文学、演劇などにも精通。

地元で活動する身近な存在を知ってほしい、応援したい。



『春の祭典』の音源は多分これだけ…

音楽はあえて
気にしない!

音楽が専門ですが、Noismの公演を観る時には音楽にとらわれたくないんです。もちろん気にはなりますが、極力気にしないようにしています。目の前で立ち現れるものがすべてじゃないですか! といふものの、やはり誰の演奏かな?とか考えてしまうのも事実、職業病の哀しさですね(笑)。個人的には「踊りまくるぜ!」っていう作品の方が、音楽ともよくマッチしていて好きです。

今では身近な
存在に

最初に観たのは2006年の『sense-datum』。当時の男性メンバーがたまたま店に来てくれて、話すうちに「この人が出るなら観に行ってもいいかな」と。何が何だか分からないけどすごいって思いましたね。以来、新潟での公演は全部観ているし、歴代メンバーとも親しくさせてもらっています。チラシ配りを手伝ったこともありますよ(笑)。同じ新潟に住んでいると思うだけで気持ちが入りますよね。

Noismメンバーも
お世話になっています



Noismを
もっと知ってほしい!



地道な
普及活動が
大事

私、音楽に限らず、好きな人に自分の好きなものを知ってもらいたいです。立派なチラシやサイトより、「これすごいいいよ」って聞く方が人は動くんじゃなくなってる。Noismは2004年から新潟に根を張って、新潟の価値を上げる活動をしながら、今もメンバーは地道にチラシ配りなんかもしている。本当によくやっていると思います。だから一人一人のところから盛り上げたいですね。結局はそこに行き当たる気がします。

取材・文:霜鳥 彩(ジョイフルタウン)

Next Performance

Noism1メンバー振付公演2022

2.5(土)17:00・6(日)15:00 劇場

>>> 詳しくは
りゅーとびあカレンダーへ

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismではレジデンシャル活動を支援して下さる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは<https://noism.jp/support/>

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、
県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します!

各公演記載のマークは下記のとおりです。

チケット取扱い:[A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館
[C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージッククリエィング新潟 [E]コンチェルト
[F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

2/23
(水・祝)

池辺晋一郎 音楽の不思議 魅惑の楽器バンドネオン
三浦一馬と仲間たち

2月23日(水・祝) 14:00開演
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定 ¥3,500
※未就学児入場不可

■出演:池辺晋一郎(トーク)
三浦一馬(バンドネオン・編曲)
林周雅(ヴァイオリン)
高橋洋太(コントラバス)
大坪純平(ギター)
山田武彦(ピアノ)

チケット取扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ、
セブンチケット ほか

Program
ピアソラ/リベルタンゴ、ブエノスアイレスの夏、天使のミロンガ ほか

主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ TEL 0257-21-0010



2/26
(土)

長岡市芸術文化振興財団 設立25周年記念
NHK交響楽団 長岡特別演奏会

指揮者に高関健、ソリストに実力派ヴァイオリニストの南紫音を迎えてお贈りする、NHK交響楽団3年ぶりの長岡特別演奏会をお楽しみください。

2月26日(土) 15:00開演
長岡市立劇場 大ホール
全席指定 S ¥6,000 A ¥4,000
※未就学児入場不可

チケット取扱い:長岡リリックホール、長岡市立劇場
※インターネットからでも予約できます。

Program
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68



主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

3/19
(土)

フルート・オーボエ・ピアノ
トリオコンサート

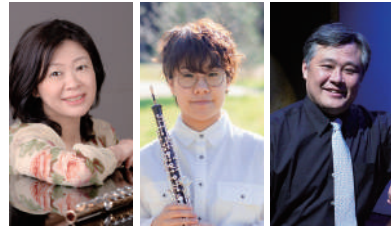
3月19日(土) 14:00開演
りゅーとびあ スタジオA

全席自由 一般 ¥3,000
学生(小・中学生以上)
¥2,000

■出演:中林恭子(フルート)
古俣友綱(オーボエ)
田中幸治(ピアノ)

チケット取扱い:[A] [E] [F]

主催・お問い合わせ 新潟室内楽愛好会 TEL 025-228-6400



Program
J.J.クヴァンツ/トリオソナタ ハ短調
J.M.タマーズ/フルートとオーボエとピアノによる三重奏曲
Ph.コーペール/タランテラ
M.ドリング/フルートとオーボエとピアノによる三重奏曲
M.アーノルド/ブルジョワ組曲

4/3
(日)

朗読・独唱、クラリネット、ピアノによる音楽物語
『蜘蛛の糸』

紙芝居作家 もろはせいこ氏の超巨大紙芝居とめぐる「音楽紙芝居」

4月3日(日) 2回公演(演目は同じ)
13:00開演(3歳以上から可)
15:00開演(未就学児不可)

りゅーとびあ スタジオA
全席自由 一般 ¥2,000
小学生 ¥1,000
未就学児(3歳以上) ¥500

■出演:小山瑠美子(朗読・独唱)
西村薫(クラリネット)
斎藤晴海(ピアノ)
諸橋精光(紙芝居) チケット取扱い:[A] [E]

主催・お問い合わせ 蜘蛛の糸コンサート事務局 TEL 025-265-4518



4/1
(金)

7/1
(金)

11/1
(火)

第四期
ついたちはガチバッハ
市橋靖子(フルート)、笠原恒則(チェンバロ)のデュオで、
バッハのフルートソナタを一曲ずつ取り上げていくシリーズです。

4月1日(金) 14:00~15:00

バッハ/フルートとオブリガートチェンバロのためのソナタ イ長調 BWV1032
バッハ/チェンバロのためのバリエータ 第6番ホ短調 BWV830 ほか

7月1日(金) 14:00~15:00

バッハ/フルートとオブリガートチェンバロのためのソナタ 短調 BWV1020
ヴィヴァルディ/トリオソナタ イ短調 RV86 ほか

■助演:小武内茜(ファゴット)

11月1日(火) 14:00~15:00

バッハ/フルートとオブリガートチェンバロのためのソナタ 短調 BWV1030
ヘンデル/トリオソナタ 短調 HWV386b ほか

■助演:廣川抄子(ヴァイオリン)

りゅーとびあ スタジオA

全席自由 各回¥1,000(当日¥1,200) (限定70席、変更になる場合もございます)

3回通し券(4/1、7/1、11/1) ¥2,000(6/30まで販売) チケット取扱い:[A] [E]

ご予約・お問い合わせ TEL 090-2932-0052 Eメール kasahara.cembalo@gmail.com



4/10
(日)

ソプラノ柳本幸子リサイタル
with ピアニスト塚田佳男 ~珠玉の日本歌曲の世界~

日本歌曲研究および演奏における世界第一任者、ピアノ塚田佳男氏をお招きして。

4月10日(日) 14:00開演
りゅーとびあ コンサートホール

全席自由 ¥4,000(当日¥4,500)
学生(小・中・高・大) ¥1,000

Program
浜千鳥、花の街、平城山、初恋、さくら横ちょう
舞、猪木隆作曲~語り歌の世界~ ほか

チケット取扱い:[A] [E]



主催・お問い合わせ イシス・シリーズの会 TEL 025-201-9063



りゅーとびあ専属オルガニスト・石丸由佳の

オルガン武者修行!

海外留学(デンマーク編)もいよいよラスト。前回に引き続きオルガンの名器たちをご紹介します。次回からは新しい国での“武者修行”をお届け。どうぞお楽しみに!
文・写真提供:石丸由佳

デンマークの名器たちをご紹介します!

私は王立音楽院のソリスト科というところに在籍していました。コンサートをすることも学びのうちに、先生がたくさん演奏機会を与えてくださったのでデンマーク国内のいろいろな土地へ旅をしました。



▲初めての海外生活を精神的にも支えてくれた恩師、ハンス・ファグウス先生。先生の情熱的な演奏に惚れて留学先をデンマークに決めました。日本では逆ですが、パーティーでは先生が生徒たちをおもてなし。コーヒーを配ってくれています。



profile

オフィシャルウェブ▶



石丸由佳 ISHIMARU Yuka

新潟市生まれ。りゅーとびあで初めてパイプオルガンに触れたことがきっかけでプロの道へ。10か国100か所以上でのコンサートを経て、今に至る。



◀世界遺産ロスキレ大聖堂のオルガン。装飾も豪華絢爛。



▲パイプ一本一本に金の美しい装飾。豊かな国、デンマークを象徴しているかのよう。

▲北ドイツ学派の名匠でバッハにも多大な影響を与えた作曲家ブクステフーデは実はデンマークの出身と伝えられています。1660～68年まで、このHelsingør (ヘルシンオー)の教会でオルガニストをしていました。私も弾かせてもらい、17世紀に思いを馳せました。

それゆけ園芸部!

～りゅーとびあの庭へようこそ～



- 1.女性スタッフも高い脚立に上って飾り付け。「高くて怖くなかったですか?」「全然!」
- 2.リボンは全てスタッフの手作り。ひとつひとつが華やかで、リッチに仕上がりました。
- 3.飾り付けは2Fロビーの他、6Fエレベーターホールなど、さまざまな場所にあります。

冬は「りゅーとびあ園芸部」もオフシーズン。花や木々のお世話もお休みです。でも、お客様をおもてなしする仕事に終わりはありません。昨年11月下旬の休館日にメンバーが集まって、クリスマスの飾り付けを行いました。



施設・利用課 / Sさん
園芸部リーダー。趣味の庭いじりを業務にいかして活躍中。出勤日はほぼ屋上庭園に上がる。育てた花にSNSでたくさん「いいね!」が付くことが何よりの励み。

今回の「それゆけ園芸部!」は番外編です。クリスマスの飾り付けは恒例行事で10年以上も欠かさず行っていますよ。高さ4mのツリーやリース、電飾などを取り付けていきます。寒いこの季節、りゅーとびあがちょっとあたたかく感じられますように。

※飾り付けは昨年12月に終了しました。

こんなところにも飾り付けが

2Fインフォメーション

いろいろな小物やチケットが並ぶショーケースを覗いてみて。こんなところにも、ささやかな飾り付けが。



1Fスタッフの事務室

受付カウンターにもクリスマスリースが。いつもの職場が華やかになって、私たちスタッフもうれしい。



PICK UP!

こんなブルーの場所あったっけ? 知る人ぞ知る秘密の場所!



新作能「利休」



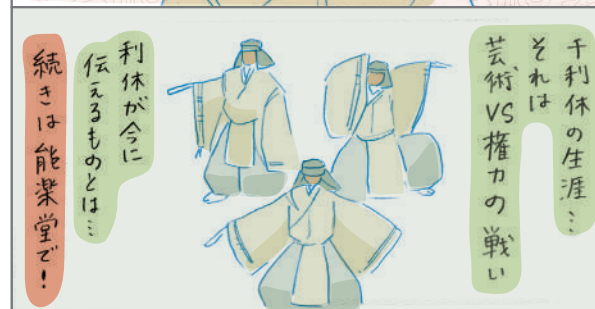
私は秀吉に切腹せられたのだ!

聞け忠興...



今日は先生ゆかりの茶室跡を訪れた

私は細川忠興へ故千利休の一番弟子



利休が今に伝えるものとは...

千利休の生涯...



忠興...

すると千利休の幽霊があらわれた!

新作能「利休」
3.13(日)14:00開演
能楽堂

能を観たことのない人にも、観てほしい。現代の解釈で創作された新作能。

茶道を完成させた千利休をテーマにした話題作が、新演出でいよいよ上演されます。千利休は、貴族の娯楽だった茶道を芸術の域まで高め、豊臣秀吉の側近にまで上りつめた人物。権力の脅威に屈せず命をかけて茶道を貫いた千利休が、コロナ禍の今何を呼びかけてくるのか。そんなところもこの公演の見どころです。

りゅーとびあのスタッフが厳選リコmend!

ご近所のお店

この冬、上古町商店街に小さな複合施設「SAN」がオープンしました。築100年になる古民家を活用し、カフェ、花屋、オープンスペースなどが集合。初めて古町を訪れた方が、ここをスタート地点にまちを楽しめるよう、オリジナルマップを配布しています。りゅーとびあから歩いてすぐの「SAN」、公演の前後にぜひ足を伸ばしてみてくださいね!

【店舗情報】 SAN

新潟市中央区古町通3番町653
TEL 025-228-5739
営業時間 10:00~17:00
定休日 火曜日・水曜日



1.写真は完成イメージ。ギャラリーやカフェ、花屋、新潟食材の研究所、デザイン事務所などが入っている。2.SANのロゴマーク。<はじめる、つづける、であう>の言葉に、たくさんの人の思いが込められている。3.築100年の古民家を活用。古町にある価値に気づき、新しい価値をつくる取り組み。

「SAN」のデザインを手掛ける迫一成さん

2020年に偶然手にしたodoriba(踊り場)のフリーペーパーで、古町で人々が交流し若い人も夢を持てる場を妄想していて。嬉しくて嬉しくて。

そしたら、妄想の主のカナザワリカコがある日ヒッコリに来てくれたので「一緒にやらない?」って声をかけて、それが最初です。一人だと心細いけど、同志がいると心強くて、ワクワクすることができたらいいな~と思いました。



hickory03travelers代表。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、デザイン制作や販売などを行う。その他、まちを面白くする取り組みなど、柔軟かつ活動中。

